

アクティブラーニングとは—構成と使い方

各章は以下のような構成となっています。「使えるフレーズ」はとっさに口にできるかどうかが重要です。頭で理解するだけでなく、動画を何度もみて、聞き取り、ネイティブの発音、間とり方、ジェスチャーなどを身につけましょう、そして自分に置き換えた練習を繰り返しながら、それぞれを鍛えましょう。動画と練習を活用し能動的に身につける、それがアクティブラーニングなのです。

各章の構成

INTRODUCTION

使用場面をイメージ!

章冒頭の「会話例を見てみよう!」で場面やフレーズの使用イメージが掴めます。



1.2 聞き返すのは恥ずかしくない

英語の授業はまだまだです。聞き返すことで再度で復習し、思い出しやすくなるはず。この点に、先生も理解が深まるので、耳を貸して下さる先生もたくさんいます。聞き返すことは恥ずかしいことではなく、積極的に聞くべき姿勢は偉大な強みでもあります。

1 もう一度お願いします

- (Sorry,) what was that again?
- (Sorry,) what did you say?
- (Sorry,) could you say that again, a little slowly?

例
A: It's interesting that you **research**

BASIC

使えるフレーズをしっかりと習得!

これだけ知っておけば大丈夫という使いまわせるフレーズを紹介します。

TIPS/COLUMN

+ a のアドバイスで不安解消!

ありがちな疑問がある場面での心構えについてアドバイスします。

機能的な話し言葉とはなんでしょう?

本音で機能的な話し言葉は、「機能的コミュニケーション」を指し、相手と意思疎通を図るために、コミュニケーションの目的を達成するために使われる話し言葉です。

例文: I'm sorry, but I don't understand. Could you please repeat that? (申し訳ありませんが、理解できません。もう一度教えてください。)

ポイント: 相手の話を聞き取れない場合、聞き取れない部分を聞き取った後に、聞き取れない部分を聞き取らないでください。聞き取れない部分を聞き取らないでください。聞き取れない部分を聞き取らないでください。

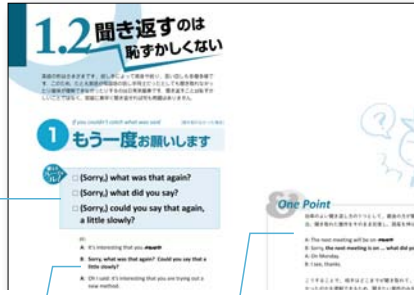
例文: I'm sorry, but I don't understand. Could you please repeat that? (申し訳ありませんが、理解できません。もう一度教えてください。)

ポイント: 相手の話を聞き取れない場合、聞き取れない部分を聞き取った後に、聞き取れない部分を聞き取らないでください。聞き取れない部分を聞き取らないでください。聞き取れない部分を聞き取らないでください。

読む

使えるフレーズの意味、
使いどころを理解しま
しょう。

一目瞭然の
「使えるフレーズ」



具体的な使い方を
「例」で示します

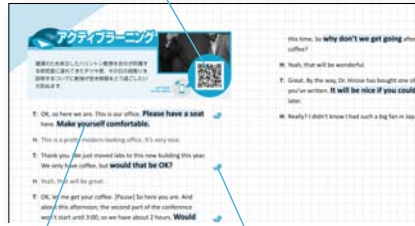
ニュアンスなどを「OnePoint」で解説
「気をつけて!」にて文化の違いにも言及

見る

扱ったフレーズにフォー
カスした動画を活用し、
スラスラ言えるようにな
るまで「声に出して」繰
り返し練習しましょう。

扱ったフレーズを強調
(会話ですので解説フレーズと同一で
ない場合もあります)

QRコードで動画
に簡単アクセス



他の表現も確認で
きるよう解説ページ
を掲示

話す

さまざまな質問に「自分
の言葉」で答え、フレー
ズを自分のものにしま
しょう。



参考のため模範解答例をつけた
ものもあります